

有限会社尾野興業運輸

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間2021 年6月1日～2022 年5月31日)



作成日： 2022年10月15日
改定日： 2023年2月8日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



I. ごあいさつ

かけがえのない地球環境の保全は事業活動の重要な要素として位置付けるとともに、産業廃棄物の収集運搬事業における環境負荷の低減を図り、人・地球・地域に優しい企業となることを目指します。

環境経営方針

<環境経営理念>

有限会社尾野興業運輸は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、本業である汚泥・動植物性残さの収集運搬を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。

収集運搬事業における受託量の増加が、当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
 - ①受託処理量(収集運搬量)の安定的確保
 - ②電力・車両燃料の二酸化炭素排出量の削減
2. 事業所や車両の省エネに努めます。
 - ①収集運搬業における環境配慮・収集運搬車の燃費向上
3. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
 - ①当社が受託した廃棄物の処分方法は、すべて堆肥化であるため事業そのものが再資源化の一端を担っているため 受託量の増加こそがエコ活動そのものと言える。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 収集運搬における環境配慮に努めます。
 - ①収集運搬車の燃費向上
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
 - ①地域の環境美化
7. 本方針を当社の全従業員に周知徹底いたします。



制定日：2010年5月1日

改定日：2020年6月2日

代表取締役社長 尾野 守彦

II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
有限会社尾野興業運輸
代表取締役社長 尾野 守彦
- (2) 所在地
本 社 兵庫県たつの市神岡町沢田949番地の1
TEL: 0791-62-9152 FAX: 0791-62-9153
- (3) 環境管理責任者氏名と連絡先
責任者 総務部長 唐沢麻衣 TEL: 0791-62-9152
- (4) 事業内容
産業廃棄物収集運搬業、一般区域貨物自動車運送事業

(5) 事業の規模

法人設立 平成3年6月12日
資本金 2,000 万円
売上高 32,563 万円 (2021年度)

	本社
従業員	15 名
延べ床面積	1400 m ²

受託した産業廃棄物

収集運搬量	82,829 t
車種	台数
10tダンプ	12 台
営業車	4 台
フォークリフト	2 台
合計	18 台

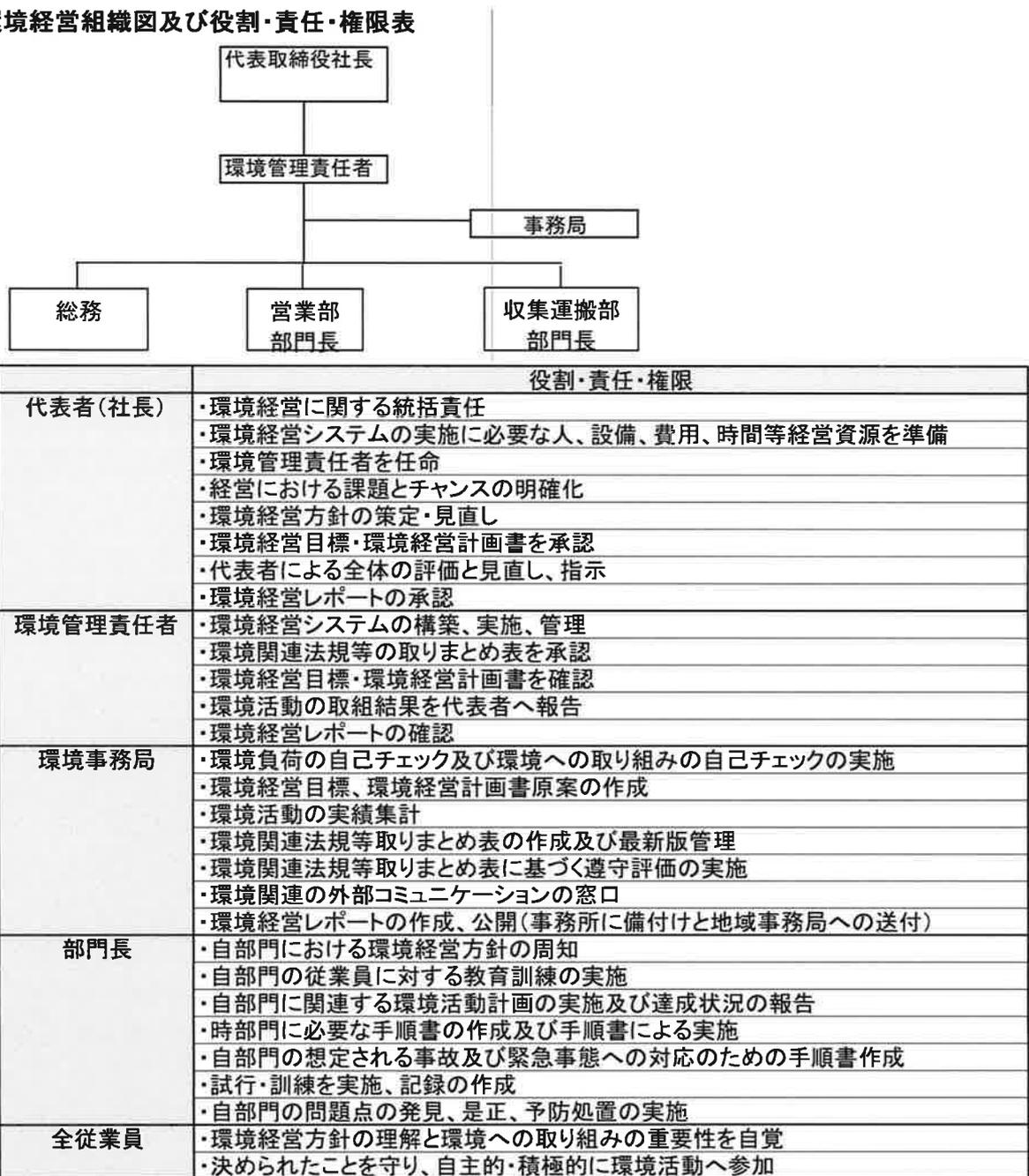
III. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 有限会社尾野興業運輸
対象事業所: 本社
活動: 産業廃棄物収集運搬業、一般区域貨物自動車運送事業

IV. 事業の紹介



V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



VI. 許可の内容

(1) 産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	優良許可	廃棄物の種類																	
						燃え殻	汚泥	プラスチック	木くず	紙くず		繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	はいじん		
広島県	第3400001756	令和3年4月13日	令和10年4月12日	無	優	○																	
兵庫県	第02806001756	令和3年12月25日	令和10年12月24日	無	優	○	○	○	○					○							○	○	○
岡山県	第03301001756	令和3年11月9日	令和10年11月5日	無	優	○	○		○													○	
愛知県	第02300001756	令和2年2月7日	令和7年1月27日	無			○															○	
京都府	第02600001756	令和2年6月26日	令和7年5月19日	無			○	○	○													○	
和歌山県	第03000001756	令和2年1月31日	令和7年1月30日	無			○															○	
三重県	第02400001756	令和3年1月13日	令和8年1月12日	無			○															○	
香川県	第03709001756	平成30年9月7日	令和5年9月6日	無			○																
大阪府	第02700001756	平成30年2月17日	令和5年2月16日	無			○	○	○	○												○	○
岐阜県	第02100001756	令和4年11月10日	令和11年11月9日	無			○																○

(2) 主要取引先

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
 (株)ダイセル 姫路製造所
 サントリープロダクツ(株)高砂・京都工場
 松谷化学工業(株)
 兵庫パルプ工業(株)
 日本製紙パピリア(株)
 丸大食品(株)高槻工場
 パナソニック液晶ディスプレイ(株)
 その他多数

(3) 処理業者一覧

(株)白滝有機産業
 児島興業(有)
 (株)日本資源開発社
 谷ファーム
 エコファーム
 クリーン発酵(株)
 日本有機(株)
 ハリマ産業エコテック(株)
 その他数社

VII. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,271,881	1,356,263	1,401,487
受託収集運搬量	t	60,255	66,196	82,829
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出	kg	14	13.4	13
水使用量	m ³	1472	1,470	1,468

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh 2018年度の関西電力の調整後の係数
 ※化学物質の使用は無し

VIII. 環境経営目標及びその実績

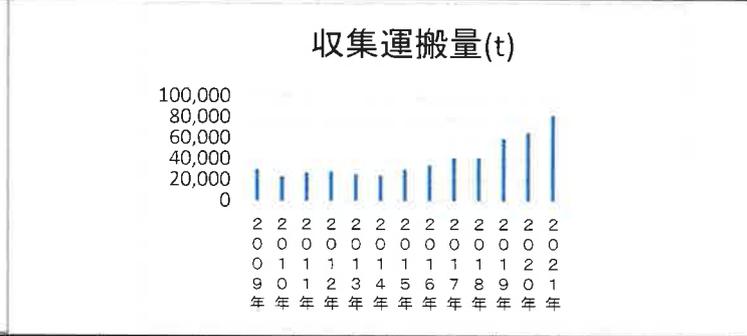
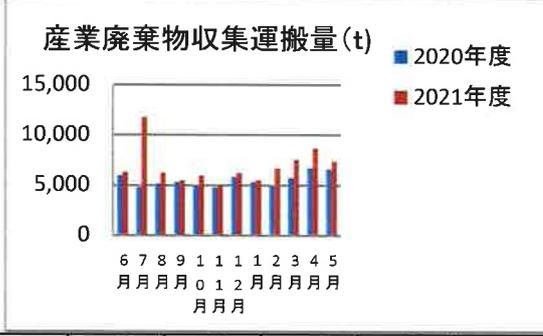
項目	年度	単位	基準値	2021年度		評価	達成率	2022年度	2023年度
			(基準年)	(目標)	(実績)			(目標)	(目標)
産業廃棄物収集運搬量の安定的確保		t	66,196	66,858	82,829	○	124	67,520	68,182
	基準年度比	2020年度		101%	125%			102%	103%
電力による二酸化炭素削減		kg-CO ₂	1,936	1,917	1,926	×	95	1,898	1,878
	基準年度比	2020年度		99%	104%			98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減		kg-CO ₂	1,354,229	1,340,687	1,399,560	×	94	1,327,145	1,313,602
	基準年度比	2020年度		99%	103%			98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	1,356,166	1,342,604	1,401,487	×	94	1,329,042	1,315,481
一般廃棄物の削減		kg	13.4	12.5	13	×	98	12.5	12.1
	基準年度比	2020年度		93%	100%			93%	90%
水使用量の削減		m ³	1,470	1,455	1,468	×	91	1,441	1,426
	基準年度比	2020年度		99%	100%			98%	97%
環境に配慮した収集運搬		t/L	0.130	0.131	0.157	○	120	0.132	0.134
	基準年度比	2020年度		101%	121%			102%	103%

※灯油とLPGについては微量なため、目標設定しません。また、化学物質は使用していないため、目標設定しません。

IX. 環境経営計画及び取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

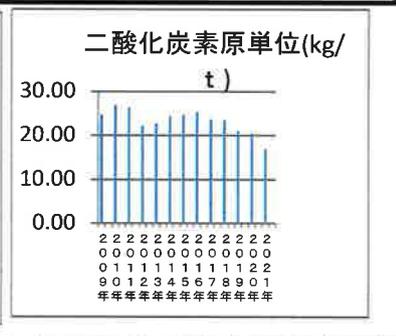
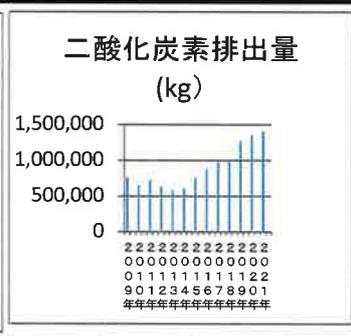
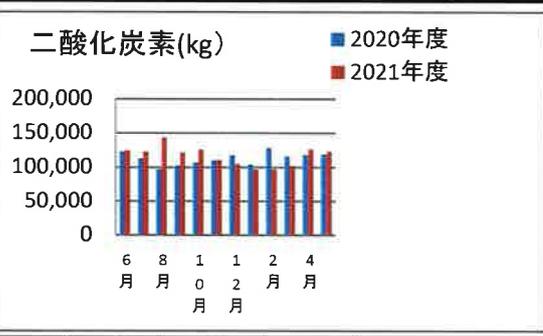
数値目標:○達成 ×未達成

産業廃棄物収集運搬量の安定的確保	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度と比較しても大幅に運搬量を増やすことが出来た。来期以降もこの調子を保てるように努めていく。また、単価の見直しをさせてもらうことも少しずつではあるが出来た。今後もこの調子で運搬量を安定的に増やせるように努める。
・動向に応じて単価の見直しをする	○	
・処分場の確保	○	
・情報収集	○	



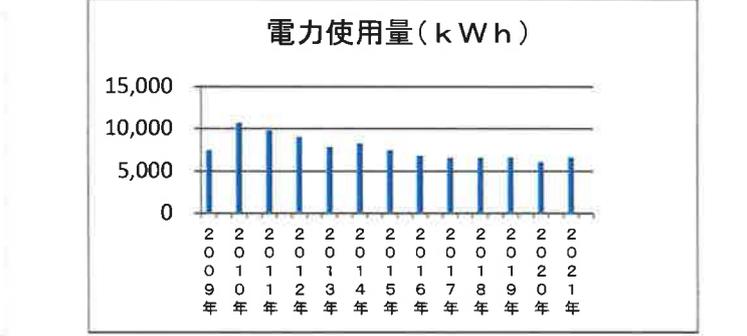
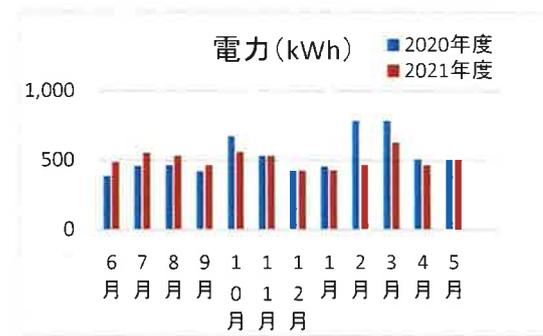
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	5,965	4,866	5,147	5,310	4,978	4,785	5,833	5,289	4,978	5,737	6,714	6,594	66,196
2021年度	6,307	11,807	6,241	5,479	5,936	5,081	6,199	5,497	6,684	7,572	8,676	7,350	82,829

二酸化炭素排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	二酸化炭素排出量は×だが、それぞれの数値は基準年度と比較しても悪くない。
・下記による		



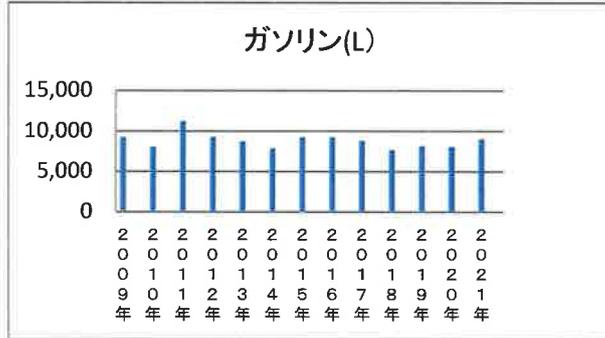
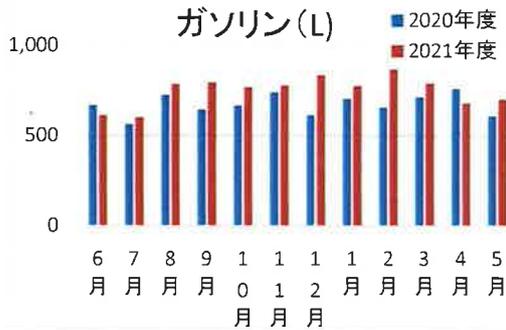
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	122,801	112,874	97,341	102,560	107,084	109,901	117,619	103,990	128,771	115,995	118,311	118,919	1,356,166
2021年度	124,509	122,996	143,637	121,230	126,063	110,467	104,954	97,304	97,999	102,197	126,898	123,231	1,401,487

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	次期以降 新社屋でのオール電化になっているため 基準年度と比較するべきか考える。太陽光発電も設置したため どのよう に比較するか検討が必要である。
・エアコンの温度管理(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・照明管理(未使用箇所の消灯)	△	
・省エネ機器の購入	○	

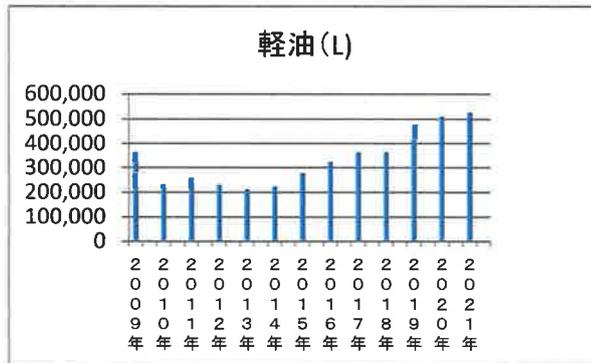
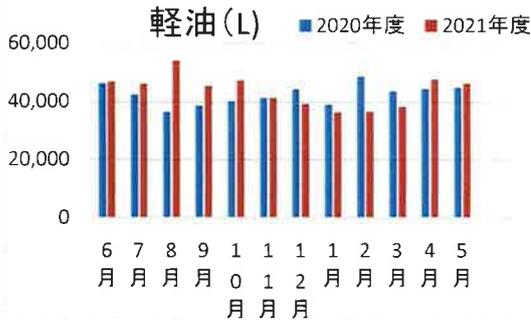


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	387	460	465	421	672	534	429	457	783	783	507	507	6,405
2021年度	489	553	533	465	560	532	427	430	469	628	466	506	6,058

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	達成はできていないが 結果として受託量が増えているため 良しとする。基準年度では収集運搬効率は20.457kg-CO ₂ /tだったが今年度は16.896kg-CO ₂ /tで効率としては良くなっている。今後も収集運搬効率がよくなるように努めていく。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートでの営業	○	
・適正な車両の整備	○	

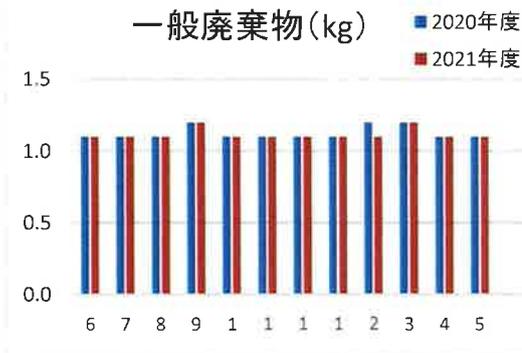


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	673	565	730	647	671	742	616	707	659	717	762	612	8,101
2021年度	617	603	788	798	772	782	840	778	870	794	682	704	9,028



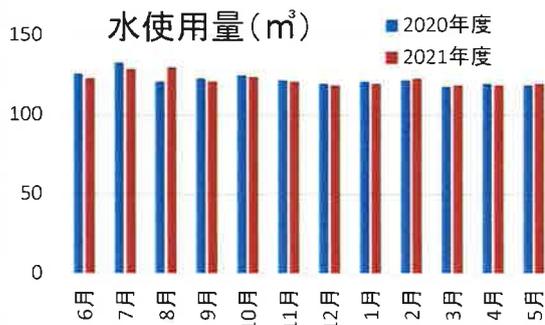
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	46,228	42,526	36,450	38,521	40,196	41,225	44,295	39,009	48,509	43,543	44,421	44,785	509,708
2021年度	46,917	46,344	54,061	45,508	47,364	41,406	39,263	36,398	36,577	38,227	47,774	46,350	526,189

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成だった。新社屋に6月に引っ越しし落ち着いてからを検討したい。次年度以降は基準年度の数値に戻せるよう努める。
・分別に寄るリサイクルの徹底	○	
・紙ごみをできるだけ減らせる	○	



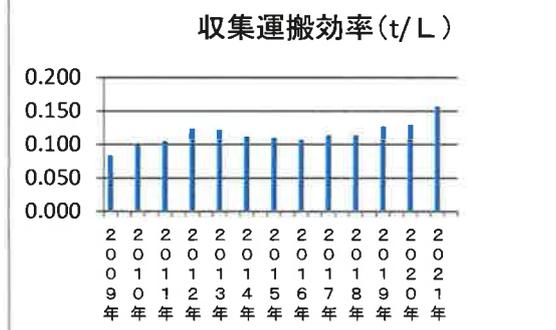
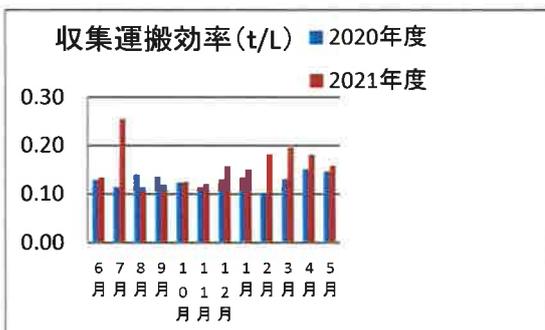
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1	13.5
2021年度	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	13.4

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	受託量増加に伴い走る距離も増え 汚れが落ちにくくなるため 洗車時間が長くなったことも未達成の要因と考える 今後も基準年度と比較するのか受託量を増加させた予想数値をもとに比較するのか考えていきたい。
・節水意識の向上	○	
・洗車時の垂れ流し禁止	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	126	133	121	123	125	122	120	121	122	118	120	119	1,470
2021年度	123	129	130	121	124	121	119	120	123	119	119	120	1,468

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	環境に配慮した収集運搬は確実に達成できたため安堵する。来期以降もこの調子を保って継続していきたい。収集運搬効率についても自動車燃料による二酸化炭素の排出でも申し上げたとおり良くなっている。今後は収集運搬効率をメインに考えていくか検討する。
・エコドライブ	○	
・アイドリングストップ	○	
・効率的、計画的収集	○	
・適正な車両の整備	○	
・事故ゼロを目指す		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2020年度	0.13	0.11	0.14	0.14	0.12	0.12	0.13	0.14	0.10	0.13	0.15	0.15	1.56
2021年度	0.13	0.25	0.12	0.12	0.13	0.12	0.16	0.15	0.18	0.20	0.18	0.16	1.90

X. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な収集運搬 マニフェスト管理	遵守
自動車NOx・PM法	営業用乗用車、収集運搬用トラックの排ガス規制の遵守	遵守
消防法	防火・火災訓練、消火設備の点検	遵守
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合、業者への引き渡し	対象無し
家電リサイクル法	家電を廃棄する場合、業者への引き渡し	対象無し
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検の実施、点検結果の記録、記録の保管	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

又、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

XI. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日：2021年6月1日	■実施場所 本社事務所
■参加者：尾野 唐沢 大西	■実施内容 火災対応手順書 ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 新社屋での火災訓練は初めてでした。 初めての場所でもスムーズに出来た。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 消火器の設置場所の確認から始めて手順書のとおり出来た。 避難経路は 玄関もしくはその状況に応じて裏の窓からということに決定した。	

緊急事態の想定： 収集運搬車両事故	
■実施日：2021年6月1日	■実施場所
■参加者：尾野 運転手9名 唐沢	■実施内容 収集運搬車両事故による油類流出事故対応手順書 ・事故対応、通報訓練
■評価： 手順書の通り出来た。実際の状況でも落ち着いてやってもらいたい。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 車両転覆による道路へのオイル漏洩発生。実際の状況で車両が転覆した場合、運転手が無事かは疑問があるが無事と想定してやってみた。	
	

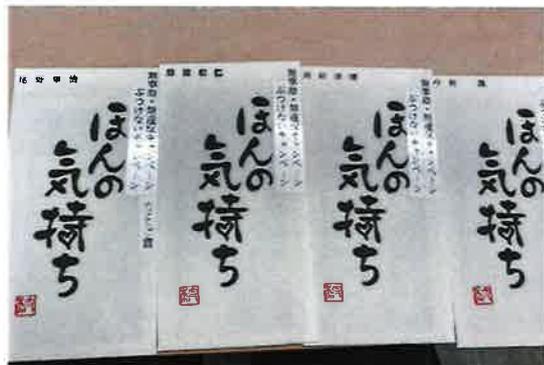
XII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 尾野 守彦 実施日：2022年9月7日

今年度は新社屋への引っ越し 駐車場の再整備等 バタバタすることが多い中、仕事の受託量も順調に伸ばすことが出来、収集運搬量の安定的確保と環境に配慮した収集運搬などの目標を達成することが出来ました。新社屋の電気使用量や太陽光発電システムの導入による影響等まだ把握出来ないこともあるが比較できるようになった時が数値にどのような変化が出るのか楽しみです。来年度も受託量が増加するよう営業努力を怠らないようまた 受託した仕事を適進できるよう社員一丸となって頑張っていきたいです。政府が下水汚泥の肥料化を推進することを発表していました。弊社の仕事が認められたようで非常に喜ばしく思います。この良い流れが弊社にも良い影響を与えてくれることを期待しています。

- | | | |
|-----------|--|--|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

XIII. これまでの環境活動の紹介



無事故・無違反・ぶつけないキャンペーン
エコアクション賞の金一封です

8:45
下水汚泥を肥料に活用、輸入化学原料の高騰で政府が本腰... 国産化への価格抑制
【コラム】下水汚泥は建設資材などにも再利用されている

下水汚泥を肥料に活用、輸入化学原料の高騰で政府が本腰... 国産化への価格抑制

19年11月 1000 経営新聞

下水汚泥の再利用方法



XIV. 編集後記

ウクライナ情勢やコロナ禍による化学肥料輸入の減少により下水汚泥の再利用として政府が肥料化を推進して方針。弊社の事業こそがエコ活動であることが認められような気がしてうれしく思います。もっと世の中の人に私たちの事業・活動を広く知ってもらいたいと思います。

【コラム】下水汚泥は建設資材などにも再利用されている
10月20日取りまとめる地産経済対策で、政府は肥料の国産化を推す方向だ。すでに国産肥料は肥料の増産に向けて、「化学肥料への依存度を引き下げ、土壌改良剤や資材品などの危機に強い経済構造への転換を促す」とも発表している。